

編集後記

第36巻ではハイパフォーマンスについて扱った報告2編，社会学領域の報告1編，体づくり運動実践に関する報告1編の合計4編を掲載いたしました。それぞれ領域は異なりますが，すべてがスポーツ実践に関する報告であり，日本体育大学体育研究所の研究としてふさわしい内容となっております。来年度からは総合スポーツ科学研究推進センターがスタートし，大学としても研究活動がさらに活発になっていくことが予想されます。体育研究所は特に教職員の共同研究の場としての役割を果たし，体育研究所雑誌の次巻でさらに多くの研究成果が報告できることを期待しています。

伊藤雅充